

(26)ラットの気管上皮細胞およびヒトの腫瘍細胞における、アムリット [ M 4 と M ] および関連薬剤の化学予防的活性

#### 文献名

Proceedings of the American Association for Cancer Research, Vol.32, p.128, 1991 (Abstract).

#### 著者

J.T. Arnold,\* B.P Wilkinson,\* E.A. Korythynski,\* and V.E. Steele.\*\*

#### 実施場所

\* ManTech Environmental Technology, Inc. RTP, NC 27709

\*\* National Cancer Institute, Bethesda, MD 20892 (国立癌研究所、メリーランド州ベテスダ)

#### 要約

ラット気管上皮 ( R T E ) 細胞の焦点抑制試験および A 4 2 7 ヒト腫瘍細胞の固定独立試験によって、二種の薬用のアーユルヴェーダ薬草混合物 M 4 および M 5 の化学予防的可能性の評価を行った。水性抽出物とエタノール抽出物の割合を 1 : 1 とした M 4 は、R T E の検査においてベンゾピレンにより誘発される形態的变化を 2 7 % 抑制し、柔らかい寒天で培養した A 4 2 7 腫瘍細胞の成長を 5 1 % 抑制した。M 5 の水性抽出物は、ベンゾピレンに露出された R T E 培養物の変化を 5 3 % 抑制した。これらの結果は、M - 4 および M - 5 が腫瘍性変化の過程を抑制することを示唆している。M 4 および M 5 の成分に類似する化合物を上記の検査で試験した結果、それらも化学予防的活性を示した。試験対象となった化合物は、クルクミン、フェルラ酸、カテキン、ピオフラボノイド、レチノイン酸、パルミチン酸アスコルビル、グリシルヒチン酸である。